第**四**欄 (iv) 発明者である旨の申立て (米国を指定国とする場合)

申立ては奥ᆆ細則第 214 号に規定する以下の標準文書を使用して作成しなければならない。第四相と同梱(i)~(v)の偏考の結論部分、 及び本質に特有の事項について解阻網(iv)の信等を参照。この相を使用しないときは、この用紙を顧客に含めないこと。

発明者である旨の申立て(規則 4.17(iv)及び 51 の 2.1(a)(iv)) (米国を指定国とする場合)

私は、	特許請求	の範囲	肌に配成され、	かつ特許がオ	さめられてい	いる対象に関して	白点水根初	、最先かつ唯一の発明	1 th t - z	/ 4% BB = 4	A 1 2 20 44
されてい	ない場合)	בול	あるいけ北京	次朋生でもと	(対対)のエ	ERR STATES AND A STATE BRIS	ロッカッカル	、現元が一つ個一の発が と信じていることを、	18 (00	(知労省か)	名しか記載
		,,,	ON STATE OF THE	1364143 C07	「没致ソリタ	897.6か記載されて	. いる場合)	とぼじていることを、	ここに申し	ン立てる。	

されていない場合)か、あるいは共同発明者である(複数の発明者が記載されている場合)と信じていることを、ここに申し立てる。									
本申立ては、本督がその一部をなす国際出願を対象としたものである(出願時に申立てを提出する場合)。									
本申立ては、国際出願 PCT/を対象としたものである (規則 26 の 3 に従って申立てを提出する場合)。									
私は、特許請求の範囲を含め、上記国際出願を検討し、かつ内容を理解していることを、ここに表明する。私は、PCT 規則 4.10 の規定に従い、上記出願の願書において主張する優先権を特定し、かつ、「先の出願」という見出しの下に、出願番号、国名又は世界貿易機関の加盟国名、出願日、出願月、出願年を記載することで、米国以外の少なくとも一国を指定している PCT 国際出願を含め、優先権を主張する本出願の出願日よりも前の出願日を有する、米国以外の国で出願された特許又は発明証の出願をすべて特定している。									
先の出願:									
私は、連邦規則法典第 87 編規則 1.56 (37 C.F.R. § 1.56) に定義された特許性に関し重要であると知った情報について開示競務があることを、ここに承認する。さらに、一部継続出願である場合、先の出願の日から一部継続出願の PCT 国際出願日までの間に入手可能になった重要な情報について開示競務があることを承認する。									
私は、表明された私自身の知識に基づく陳述が真実であり、かつ情報と信念に関する陳述が真実であると目じることをここに申し立てる。さらに、 故意に虚偽の陳述などを行った場合は、米国法典第 18 編第 1001 条に基づき、罰金、拘禁、又はその両方により処罰され、またそのような故意によ る虚偽の陳述は、本出願又はそれに対して与えられるいかなる特許についても、その有効性を危うくすることを理解した上で陳述が行われたことを、 ここに申し立てる。									
氏名: 長谷部 忍									
_{住所:} 港区 東京都 日本国 (都市名、米国の州名(該当する場合)又は国名)									
_{郵便のあて名} : 〒105-001 日本国東京都港区虎ノ門1丁目7番12号									
沖電気工業株式会社内 '									
_{国镕:} _日本国 Japan									
発明者の署名:									
(国際出願の顧杏に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 8 に基づい て国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代 理人ではなく、発明者のものでなければならない。) (国際出願の関ひとのではなく、発明者のものでなければならない。)									
氏名:									
_{住所:} 港区 東京都 日本国									
(都市名、米国の州名 (該当する場合) 又は国名)									
^{郵便のあて名:} 〒105-0001 日本国東京都港区虎ノ門1丁目7番12号									
沖電気工業株式会社内 日本国									
BH: 日本国 Japan THE TO THE STORY OF THE STOR									
始明者の寄名:									
(国際出願の願替に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 8 に基づい て国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代 理人ではなく、発明者のものでなければならない。) (国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)									
✓ この申立ての続葉として「第四個(iv)の続き」がある									

鋭式PCT/RO/101 (中立て用紙(iv)) (2001年3月版)

第四欄(i)~(v)の続き 申立て

算면側()~(v)の紙面が不足する場合(同欄(v)において2人以上の発明者を記載する場合を含む)、「第1四欄…((i)~(v)の番号を記載の続き」としたうえ、当数申立て と同様に必要事項を記載する。2以上の申立てにおいて紙面不足がある場合、それぞれに別々の欄を使用する。この追記欄を使用しないときは、この用紙を顧書に含めないこと。

第呱欄(iv)の続き

. 氏名 黒田 充彦

住所 港区 東京都 日本国

郵便のあて名 〒105-0001 日本国東京都港区虎ノ門1丁目7番12号

沖電気工業株式会社内

日付 03、/2、22